

福祉産業建設委員会

協議会
11月6日

長嶺北部地区福祉医療ゾーン構想の今後の予定が示される



令和5・6年度に、農振除外、新設町道工事、開発許可申請。
令和7・8年度に、造成工事、事業者による建築確認。
令和9・10年度に、事業者による建築工事。

問 2190万円で業務委託したが、職員間で補充し合うことで、費用を圧縮できるのでは。用地取得委託業務の詳細を。

答 地権者37人、筆数73筆である。古くまで遡り確認する必要があることから難航が予想された。検討の結果、このような進め方とした。

子育て応援・家事サポートの利用状況

問 資格を持った人が派遣されるのか。研修を受けた人を派遣する。社会福祉協議会が請負う。

答 対応に必要な人数は、確保可能か。需要が増えたら、シルバー人材センターや民間事業者なども検討したい。

問 他の施策との違いなど、利用者に分かりやすい周知を。

答 子育て支援センターを窓口にしており、申請の際に、ファミリーサポートの説明もしたい。子育てマップの次年度版に記載し、町公式LINEも含めて、周知する。
(その他17項目を協議)

総務教育委員会

協議会
11月13日

幸田町と豊坂村合併70周年記念事業を進める

幸田町の更なる発展に向けた「幸田町町村合併70周年記念事業」の一つとして、記念歌を作るなどを予定。

問 記念歌の作成者は決まっているのか。
答 半崎美子氏を予定している。

ラリー三河湾開催決定と今後の動向

問 町内でのイベント開催の予定は。

答 町内のコース途中で、物産展やキッチンカーなどのイベントを考えていく。

問 テレビ放映はあるのか。

答 名古屋テレビも実行委員として参画している。三河湾ネットワークにも働きかけしていく。



パステがまごおりで疾走するラリーカー

須美・前山地区企業立地事業の現状

問 工業用地周辺の道路が狭い。接続道路の開発の予定は。

答 現在は予定していないが、時差通勤などの対応にて、近隣住民に迷惑が掛からないようにする。
(その他8項目を協議)

DX推進特別委員会

協議会
11月8日

幸田町DX推進方針の 議論が始まる

幸田町DX推進方針（案）

分類	方針
①町民の暮らしのためのDX	行政手続のオンライン化や書かない窓口
	きめ細やかな情報発信の実現
②地域の課題解決と経済活性化のためのDX	子育て世帯、子どもが安全・安心に暮らせるまち
	高齢者が生き生きと暮らし続けられる地域づくり
	平常時、災害時両面から災害に強い町づくりの推進
	まちのにぎわい創出と魅力の発信
③持続可能な行政運営のためのDX	企業の業務における効率化、活性化のためのDX
	庁内の業務改善推進や職員の働き方改革の実現
	AI、ビッグデータ等新技術の検証・推進

幸田町のDX推進方針及び取り組み事項の、以下の三つの領域の内容を議論した。

①町民の暮らし
②地域の問題解決と経済活性化
③持続可能な行政運営

問 LINEでの情報提供の内容は。

答 全町民への情報発信ではなく、必要な情報発信

子育て世帯への情報発信の内容は。

問 子育て世帯への情報発信の内容は。

答 広報で展開される情報は、全て網羅する方向で進める。

問 情報セキュリティや個人情報保護はどう進めるのか。

答 基本方針に明記し、取り組みを進める。

管内視察
11月15日

長久手市の議会DX 推進状況を視察

議会での資料配布・閲覧、議会広報誌の作成と同時編集、議会事務局との連絡やスケジュール調整等に利用している。

タブレット端末の活用

タブレット端末導入は議会ですべて導入は、資料印刷・製本、配布の無駄を削減し即時性を高める。差し替えも容易である。デメリットとしては、資料全体が俯瞰しにくい。並べて比較しにくい。メモが取りにくいなど。更に、現在電子決済導入を検討中である。

タブレット端末の導入

DX推進を、先がけて取り組んでいる自治体である、長久手市を視察した。



DXの取り組みを熱心に聞く委員

オンライン会議

議会だよりの正副部長のチェックは、オンラインで実施している。